

令和4～6年 厚生労働省科学研究費がん対策推進総合研究 カリキュラム第2版  
 がん研究に患者・市民参画を実現するための患者・市民に対する教育カリキュラム・プログラムの開発に関する研究班(22EA1001)

モジュール				カリキュラム		
タイトル (pre-start)	目標	タイトル (start up)	目標	領域 (2語)	カリキュラム・コード	資質・能力(コンピテンシー)
患者・市民参画 ことはじめ	“患者・市民参画”を初めて聞く市民に向けたモジュールです。興味をもつきっかけ作りが目標です。カリキュラムはどれを適応させても構いません。	患者・市民参画するには (患者・市民参画概論)	患者・市民参画に取り組んでみたいという思いを高め、入り口に立つことを目指します。 (さらに進んだ目標として、研究チームや会議体に参画し意見交換ができる)	参画	参画-1 興味	患者・市民参画のモチベーションを高める。
					参画-2 参画チャレンジと意見交換	患者・市民の参画にチャレンジし、建設的な意見交換ができる。
		がんを知ろう (腫瘍学・社会医学)	がんについて、自らのペースで知識を深めていきましょう。	がん	がん-1 腫瘍学	がん(腫瘍学)について、自らのペースで知識を深めていくことができる。
					がん-2 社会医学	がんに関する社会医学について、自らのペースで知識を深めていくことができる。
		がん研究ってどんなこと? (がん研究概論)	がん研究について、自分のペースで知識を深めていきましょう。	研究	研究-1 なぜ研究が必要なのか	なぜ研究が必要なのか? 研究という営みについて理解する。
					研究-2 アウトラインと計画	研究を遂行するための研究構造(アウトライン)を理解し、研究計画がどのように立案されるのかを理解する。
					研究-3 研究方法とデザイン	研究方法とデザインについて質問できる。
		研究-4 データ管理と公表	研究データ安全管理と研究成果の公表と活用について理解する。			
医療統計に触れてみよう。 なぜ、必要? (医療統計・疫学)	身近な文章(ニュースや報告書)やがん研究論文で、医療統計や疫学が、どのように用いられているか体験してみましょう。	統計	統計-1 統計用語	医療統計の言葉に触れる体験をしよう。		
科学的根拠が社会で活用されるまで (科学的根拠と医療情報)	がん研究が、医療や社会の中の意思決定にどのように活用されているか学びます。	EB	EB-1 科学的根拠(EBM)とガイドライン	がん研究で得られた科学的根拠がガイドライン等を通してどのように意思決定に用いられるか知ろう。		
			EB-2 情報リテラシー	確かな情報を見分けよう。 情報リテラシーの重要性を知ろう。		
がん医療・研究に関わる人が守らなければならないこと、知っておきたいこと (がん医療に関する倫理・法規・制度)	医療や研究に関わる人が守らなければならない事柄として、倫理、利益相反、法規、制度について学びます。	EL	EL-1 がん医療の倫理	医療倫理・研究倫理、利益相反、個人情報保護について学ぶ。		
			EL-2 がん医療の関連法規・制度	その時代の最新のものを学ぶ。 がん対策基本法、薬機法、がん登録推進法、健康保険法(診療報酬、保険適応内外)、介護保険法、臨床研究法、倫理指針、健康増進法、労働安全衛生法、公的医療保険制度、高額医療費制度、患者申出医療制度等		